

法 要 の 準 備

法要には細かい手配が必要なことが多いため、早めに計画をたて、余裕を持って準備を始めたいものです。

1. 日取りの決定 (2ヶ月～1ヶ月前)

お寺に連絡し、希望の日時・場所を伝えて法要の依頼をします。最近では休日に勤められることが多く、お寺さんの予定が集中しがちです。特に、昼前の時間帯を希望される場合は早めに予約をするようにしましょう。

2. 場所の決定 (2ヶ月～1ヶ月前)

法要を勤める場所は、自宅、集会所等を利用される場合が多いようです。法要の後の法宴は料理屋に仕出しをお願いしてそのまま自宅や集会所でおこなう場合と、場所を移して料理屋やホテルなどでおこなう場合があるようです。場所を移す場合、必要によっては会場までの車の手配が必要です。また、自宅の場合、家の清掃はもちろん、家具類を動かすことも考えなければなりませんし、案内した人数に応じた茶碗や座布団・テーブルなども用意する必要があります。

3. 出席者へのご案内 (2ヶ月～1ヶ月前)

出席をお願いする人に法要の案内をします。少人数のときは電話でもよいでしょうが、人数が多いときはなるべく手紙で知らせます。最低1～2ヶ月前に案内しましょう。おとき(料理)や茶の子等の手配の都合もありますから、人数を確認するために、出欠の返信ハガキも同封します。

4. 茶の子の手配 (1ヶ月前)

出席人数がはっきりしたら、茶の子を準備します。一家族に一つが普通です。業者に法要の前に、法要をおこなう場所まで届けてもらうように依頼しておきます。

5. おとき(料理)の手配 (1ヶ月前)

自宅や集会所に仕出しをたのむ場合、料理屋やホテルに出向く場合があります。それぞれに合わせて準備や手配をしておきましょう。

6. 出席者の最終確認 (1週間前)

出席者の最終確認をし、必要があればおとき(料理)や茶の子の数を変更します。

7. 仏壇の準備 (前日までに)

ロウソク、線香、マッチなどを用意しておきます。また、焼香をしますから、焼香用の香炉を準備し、抹香および種火用の炭も用意します。仏間をきれいに掃除し、仏壇もきれいに荘厳します。お花も新しいものに替えましょう。お供え物も用意します。打敷があれば、所定の場所に掛けます。

8. お布施の準備 (前日までに)

袋を用意し、お金を入れておきます。当日差し出すときは、お布施を乗せて差し出すお盆が必要ですが、なければ袱紗(ふくさ)でも構いません。お布施は僧侶への報酬ではなく、仏さまへのお供えです。

9. 服装 (前日までに)

礼服である必要はありませんが、黒っぽいスタイルが一般的です。黒っぽいものがなければ、地味な服装に式章をつければ問題ありません。念珠は必ず用意しましょう。

10. お茶など (前日までに)

自宅で法要を行なう場合、出席者に出すお茶とお菓子の準備をしておきます。接待をする係を決めておくといでしょう。

JA安芸ギフトセンターでは真心こめて大切な法要のお手伝いをさせていただきます。

～ 詳しくはご連絡頂ければ、係の者がお伺いしご説明させていただきます。～
